



## 温暖化といわれる中で

校長 竹花 正徳

運動会には、雨で1日遅らせたにもかかわらず、たくさんの方に参観していただき、有り難うございました。梅島第二小学校の児童の活躍の様子を見守り、応援、温かい拍手をいただいたことに感謝しています。日差しが照りつけ、暑い日でしたが、昨年度、80周年を記念してPTAの皆様にご購入していただいたテントの中に全校児童の席を設けることができました。また、ミストのシャワーも有り難かったです。おかげさまで、子供たちは練習してきた成果を思いっきり発揮できたと思います。

今年度は、熱中症対策、他の行事と関連で例年よりも早めの開催となりました。新学年が始まり、1月半。5月半ばの春季大運動会の開催となりました。新学年が始まり、4月の学級開きから学級づくり、学習習慣・生活習慣づくり、そして、学校の本丸である学力の向上に取り組む中、運動会に向け、紅白わけ、プログラムの選定等、急ピッチで進めてきました。本格的に練習を開始したのは、大型連休明けの5月7日。本番まで10日間。梅二の子供たちは各学年、先生の指導を受けながら、日に日に上達していきました。「勝っても負けても協力し合って 楽しく元気に明るくがんばろう」のもと、取り組んできました。18日の本番。選手宣誓はかっこよく、運動会の歌は赤組も白組も大きな声で歌い、校庭いっぱい運動会を頑張るぞと言う気持ちが広がっていました。

表現は学年のよさが発揮でき、走・団体競技では真剣な顔が印象的でした。結果は、赤組の優勝、白組準優勝になりましたが、「勝っても負けても・・・」のように持てる力を出し切った運動会になりました。

年度はじめのこのときに、一つの目標に向かって全員が向かって頑張ることができました。これからも、梅二の子供たちは、目標に向かって努力し、大きく成長していくことが見えてきた学校行事でした。

運動会が終わると、体力テスト、そして、水泳の授業。

体力テストでは、投力（投げる力）が課題になっています。私が小さかった頃には公園や空き地で、キャッチボールやドッジボールを盛んにしていたものです。助走を付けたり投げ方を工夫したりして遊んでいました。昨今、ボールを投げてよい場所が少なくなっている現状にあります。学校では卵形のボールを使って投げたり、投げ方教室を実施したりしています。休み時間には、いわゆる大谷グローブを使って、キャッチボールをする児童もいます。投げ方が分かり、投げる力がつけばと思っています。

そして、水泳。今年も5月の段階から25度の夏日を超え、30度に迫る日もありました。暑さを想定し、今年度も体育でのプールを活用した学習を早めに設定しました。6月2日に児童朝会の中でプール開きを行います。安全に学習が行えるよう、例年のことですが、消防署の方にきていただき、教職員の救命救助の講習会をしていただきました。心臓マッサージやAEDの使い方等を実践的に教えていただきました。今年度も、児童の体調、プールの気温や水温・水質等を見て、安全第一で行っていきます。